

令和6年2月1日（木） 実施

受験番号	
------	--

2024 年度大学院法学研究科

特別選考による外国人修士課程入学試験問題

専攻科目に関する論文試験（日本語で解答すること。）

- (1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。（氏名は絶対に記入しないこと。）
- (2) **出願時に申請した1科目（入学後に専攻を予定している科目1科目）**を解答しなさい（科目は受験票に記載されている）。
- (3) 解答用紙の所定の欄に、選択した科目の番号および科目名を記入すること。
- (4) 各解答用紙には、選択した問の番号を必ず記入すること。
- (5) 解答用紙は使用するしないにかかわらず、2枚とも回収する。受験番号と選択した科目の番号および科目名を記入すること。

【1】中国法

以下の問題に答えなさい（全問必答）。

問1 中国の憲法保障制度について説明した上で、その問題点を述べなさい。

問2 中国の民法典には、日本民法に規定される法定地上権の規定が見られない。それはなぜか説明しなさい。

問3 単位犯罪の規定の特徴について説明した上で、その問題点を述べなさい。

【2】租税法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚使用すること。

問1 課税を繰り延べることは、一定の条件の下で、収益を非課税にする効果を持つ。このことについて、具体例を用いて説明しなさい。

問2 付加価値税の課税権配分基準について論じなさい。

【3】国際関係論

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 リベラリズムの国際関係理論に基づき、国際機関が国際協力のために果たしうる役割について論じなさい。次に、リアリズムの国際関係理論に基づき、国際機関の役割の限界について論じなさい。どちらも具体的に理論の名前を示すこと。

問2 アジアの国際関係における規範の効果について、具体例を挙げつつ論じなさい。

【4】民法

下記のテーマの中から1つを選び、あなたの国の法律と日本の民法を参考にして検討しなさい。解答用紙は裏面も使用してよいが、1枚に収めなさい。その際、日本の法律については、適宜、法律の条文を挙げなさい（「日本民法 90条によれば・・・」のように指摘すれば足り、条文そのものを引用する必要はない）。

1. 集合債権譲渡担保の担保価値維持義務について
2. 所有権留保売買の留保買主の倒産における留保売主の法的地位について
3. 環境侵害における純粋経済損失について
4. 素因減額について

【5】民事訴訟法

次の2問とも回答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 民事訴訟における推定について、具体例を挙げつつ説明しなさい。

問2 固有必要的共同訴訟の概要、課題と解決策について、具体例を挙げつつ説明しなさい。

【6】国際私法

問1及び問2の双方に解答しなさい。

問1 国際機関である「ハーグ国際私法会議」(Hague Conference on Private International Law / Conférence de La Haye de droit international privé)で採択された条約を1つ掲げ、その内容を説明すると共に、国際社会における意義についてのあなたの考えを論じなさい。

問2 広義の国際私法(準拠法選択規則・国際民事手続法)における「当事者自治」とは何を意味するのか、当事者自治を採用する日本法上の規定に言及しつつ、説明しなさい。また、当事者自治に対する制約の可否について、日本法上の規定に言及しつつ、あなたの考えを論じなさい。

【7】知的財産法

以下の5問のうち、問1には全員解答せよ。また、問2～4の中から、残り1問を選択して解答せよ。解答の順序は問わないが、選択した問題の番号を、解答の最初にはっきりと書くこと。

解答にあたっては、必ず日本法と中国法の両方について書くこと。できれば、日中の法を比較しつつ述べるのが望ましい。

日本法に関しては、適切な条文が挙げられていることを要する。中国法についても、できるだけ条文を挙げることが望ましい。また、日中いずれの法についても、主要な判例・裁判例には言及することが望ましい。

(本問必答)

問1 Aは著名な建築家Bの代表作といわれる戸建て住宅に住んでいるが、手狭になったので増築したい。ところが、増築により住宅の外観が大きく変わるので、Bは増築に反対である。著作権法に照らしてこの増築は認められるか。

(以下から1問を選択)

問2 Cはユーザーから動画の投稿を受け付け、それを誰でも見られるようにするインターネット上のサービスを、営利目的で運営している。著作権侵害行為によって作成した動画をユーザーが投稿した場合、Cは著作権侵害の主体となるか。

問3 新聞社に勤務する正社員の写真部員によって撮影された報道写真について、著作権と著作者人格権の帰属先を説明せよ。

問4 財産的権利としての著作権の存続期間は、どのように定められているか。著作者人格権についてはどうか。

問5 ロールプレイングゲームソフトのストーリー展開は、著作権法による保護を受けるか。

【8】 商法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 会社法120条はいかなる趣旨によって定められている規定であると解されるか、論じなさい（どのような場面において適用されることが想定されるか、2つ以上の異なる具体例を挙げて説明すること）。

問2 会社法上の非公開会社において、株主の死亡により株式の相続が生じ、その結果として株主間の信頼関係に鑑みて好ましくない者が株主となることを防ぐためには、どのような法的措置をとることができるか。また、その措置をとるにあたって生じうる法的問題あるいは実務上の問題についても論じなさい。

【9】 経済法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい。選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。

問1 日本の独占禁止法における「競争を実質的に制限する」と「公正な競争を阻害するおそれ」について、それぞれの意義を述べるとともに、共通点と相違点を論じなさい。

問2 縦のカルテル（垂直的制限）に関する日本の独占禁止法における解釈論の展開について説明しなさい。

問3 日本の独占禁止法における確約手続の意義と今後の課題について私見を述べなさい。

問4 競争法における正当化事由（または適用除外など）の概念はどのようにあるべきかについて、日本とあなたの出身国・地域を比較しつつ論じなさい（特に、デジタル経済、グリーン社会、SDGs、人口減少といった現代的課題にどのようなアプローチが可能かを指摘することが望ましい）。

【10】 刑法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい。選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。

問1 法人の犯罪主体性について論じなさい。

問2 典型的に作為犯を想定した条文によって不真正不作為犯を処罰することの正当性について、論じなさい。

問3 名誉毀損の対象となった事実が公共の利害に係る場合の取扱いについて、論じなさい。

問4 窃盗罪における占有の意義について論じなさい。